

# 夢幻能

## 月に

## 憑かれた

## ピエロ

## 《能》と《シェーンベルク》 月夜の出会い

シェーンベルク：《月に憑かれたピエロ》op.21  
Schönberg："Pierrot Lunaire" op.21



ピエロ：中嶋彰子

シテ：渡邊荀之助

指揮：ニルス・ムース

ヴァイオリン、ヴィオラ：水谷晃

チェロ：上野通明

フルート：斎藤和志

クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン

ピアノ：斉藤雅昭

笛：松田弘之

大鼓：望月太喜之丞

地謡：佐野登／藤井雅之／高橋憲正

Pierrot：Akiko Nakajima  
Noh-dance：Junnosuke Watanabe

Conductor：Niels Muus

Violin, Viola：Akira Mizutani

Cello：Michiaki Ueno

Flute：Kazushi Saito

Clarinet：Kohari Isván

Piano：Masaki Saito

Fue：Hitoyuki Masuda

Noh-accompanist：Takinajo Mochizuki  
Noh-Chorus：Noboru Sano/Masayuki Fujii/Norimasa Takahashi

# Mugen Noh" Pierrot Lunaire"

-Noh meets Schönberg under the moonlight

中嶋彰子によるプレ・トークを19:00から予定しております。

3/24 19:00  
[木]

東京文化会館 小ホール

March 24 [Thu.] at 19:00 Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

SY5,200 AY4,100 U-25¥1,500 (税込) 主催：東京・春・音楽祭実行委員会 助成：公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド



# 夢幻能《月に憑かれたピエロ》～〈能〉と〈シェーンベルク〉月夜の出会い Mugen Noh "Pierrot Lunaire"- Noh meets Schönberg under the moonlight

ウィーンを拠点に活躍するソプラノ中嶋彰子が企画・演出するシェーンベルク。

『月』に取り憑かれた演者たちによる能とクラシックが織りなす幻想的な舞台。

欧州の音楽祭でも高い評価を得た企画が、満月の東京で再び月の世界へと誘います。

中嶋彰子 (ピエロ/ソプラノ)  
Akiko Nakajima (Pierrot/Soprano)

15歳で渡豪。シドニー音楽院卒業。1990年、全豪オペラコンクールで優勝し、シドニーとメルボルンの歌劇場でデビュー。92年に欧州デビューし、欧州放送連合度最優秀賞。日本では99年から活動を本格化。《フィガロの結婚》《こうもり》《利口な女狐の物語》他に出演。



渡邊荀之助 (シテ)  
Jyunnosuke Watanabe (Noh-dance)

1949年生まれ。初代渡邊荀之助の次男。4歳で初舞台。東京藝術大学を中退し、第十八世宝生流宗家宝生英雄の内弟子となる。国内外で精力的な演能活動を展開。91年に重要無形文化財総合指定を受ける。伝統を重んじながら「新感覚の芸人」として独自の生き方を目指す。



水谷 晃 (ヴァイオリン、ヴィオラ)  
Akira Mizutani (Violin, Viola)

桐朋学園大学在学中にVerus String Quartetを結成し、第57回ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位。現在はヴィルタス・クワルテットのメンバー。群馬交響楽団コンサートマスターを経て、東京交響楽団コンサートマスターとなる。第9回上毛芸術文化賞。



斎藤和志 (フルート)  
Kazushi Saito (Flute)

東京藝術大学大学院修了。第70回日本音楽コンクールと第4回わが湖国際フルートコンクールで第1位。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、「BASUYA」「The flute quartet」メンバー。作曲・編曲、現代音楽の演奏等で活躍。2006年度アリオ音楽財団奨励賞。



斉藤雅昭 (ピアノ)  
Masaaki Saito (Piano)

ウィーン国立音楽大学ピアノ演奏科卒業。同大学院歌曲伴奏科を満場一致の首席で修了。パッサウ国際声楽コンクールで最優秀伴奏者賞。欧州各地の音楽祭に出演。邦楽奏者との共演等、ジャンルを越えた活動を展開。私立ウィーン音楽院で後進の指導にあたる。ウィーン在住。



松田弘之 (箱)  
Hiroyuki Matsuda (Fue)

能楽森田流笛方。国立音楽大学卒業。田中一次、森田光春に師事。能の笛方として東京を中心に舞台活動を展開。語りやダンス等、他のジャンルとの共演も多い。能楽協会員、日本能楽会員、国立能楽堂養成課講師。



望月太喜之丞 (大鼓)  
Takinajo Mochizuki (Noh-accompanist)

邦楽打楽器演奏家。小鼓と太鼓といった日本の伝統的な打楽器の演奏を専門とし、古典から現代作品に至る広範囲な演奏活動を行う。豊富な渡航経験による国際交流に加え、後進の育成にも力を入れており、民族音楽としての邦楽と邦楽打楽器の可能性を追究している。



佐野 登 (地謡)  
Noboru Sano (Noh-Chorus)

重要無形文化財総合指定(能楽)保持者。東京藝術大学卒業。第十八世宝生流宗家宝生英雄に師事。各地で演能活動、謡曲・仕舞を指導。次世代育成を目的とした日本の伝統・文化理解の体験型プログラムや授業を実施。海外公演や他ジャンルのアーティストとの交流も多い。



藤井雅之 (地謡)  
Masayuki Fujii (Noh-Chorus)

昭和29年生まれ。宝生流能楽師シテ方。重要無形文化財総合指定保持者。青山学院大学3年中退、東京藝術大学別科卒。現在、自身の同門会「藤井雅之」を主宰する他、NHK青山カルチャー主任講師、又年4回渡米し指導や普及活動等を行う他、欧州公演等も企画。今迄に大曲も披露。



高橋憲正 (地謡)  
Norimasa Takahashi (Noh-Chorus)

昭和51年生まれ。シテ方宝生流高橋右任の長男。19世宗家宝生英照に師事。昭和56年「鞍馬天狗」花見で初舞台を踏む。東京藝術大学卒業。平成16年「草薙」で初シテを務め、「石橋」「道成寺」他を披露。現在は自身の同門会「憲正会」を主宰・指導する他、金沢を中心に北陸での公演にも出演。



## 東京・春・音楽祭

-東京のオペラの森2016-

3.16 Wed. - 4.17 Sun.

春が訪れ  
桜がひらいて  
音楽が始まる  
上野の森に

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りで祝う——  
明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1ヵ月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワグナー・シリーズ」や国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術館・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」など、約130公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひとつに、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭-東京のオペラの森2016-」が東京—上野の春を美しく彩ります。

## チケットのお申込み

東京・春・音楽祭チケットサービス

お電話でのお申込み

03-3322-9966

オペレーター対応[営業時間 10:00-18:00 土日祝・休] 音楽祭期間中は土日祝日も営業いたします。

オンライン <http://www.tokyo-harusai.com/>

(座席選択可・登録無料)

公式サイト  
限定の  
嬉しい  
サービス!



公式サイト内オンライン・チケットサービス限定で、左記サービスをご利用いただけます。サービスの対象となる公演や座席および、取扱チケット枚数は限定されており、詳細は公式サイト「チケット」ページにてご確認ください。

## その他プレイガイド

- 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレーター)
- チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/harusai/> 0570-02-9999 (音声自動応答) ☎597-881
- ローソン・チケット <http://l-tike.com/harusai/> 0570-084-003 (音声自動応答) ☎31412
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/harusai/>

公演に関するお問合せ  
東京・春・音楽祭実行委員会  
03-5205-6497



※車椅子席、団体での鑑賞等、詳しくは東京・春・音楽祭実行委員会までお問合せください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※掲載の情報は2016年2月16日現在のものです。やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。